

**氏名 臼井 正樹** (大学院研究科兼務)

## 2 論文

- 1) 臼井正樹. (2017). 書評『相模原障害者殺傷事件—優生思想とヘイトクライム』. 精神医療 2017 No.87(2017年7月), 批評社
- 2) 臼井正樹. (2017). 神経疾患患者に対する福祉施設の役割 —特別養護老人ホームにおける認知症の方への介護福祉の意義—. 神経内科第87巻第4号(2017年10月), 科学評論社
- 3) 臼井正樹. (2017). 優生思想を自覚し制御するために—異なる存在を否定せず理解する姿勢. 新聞研究 2017/11 (No796), 一般社団法人日本新聞協会
- 4) 臼井正樹. (2017). 親密圏と対人援助, ヒューマンサービス研究7, 神奈川県立保健福祉大学
- 5) 村上陽一郎・臼井正樹. 村上先生へのインタビュー, ヒューマンサービス研究7, 神奈川県立保健福祉大学

## 3 その他の著作

- 1) 臼井正樹. (2017). 書評「障害とは何か—戦力ならざる者の戦争と福祉」リハビリテーション No599. 鉄道身障者協会

## 4 学会等での活動

- 1) 第8回ヒューマンサービス研究会の開催
- 2) ヒューマンサービス研究7の発刊
- 3) 公立大学協会社会福祉系部会の開催(平成29年度当番校として主催)

## 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 対人援助学会常任理事 2014.8～2018.8
- 2) 介護福祉士試験委員会委員長 2017.5～2019.4
- 3) 神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ活動支援委員副委員長 2006.8.1～
- 4) 平成29年度(第40回)社会福祉事業団職員実務研究論文審査委員長
- 5) 横須賀市社会福祉審議会委員福祉専門分科会長 2010.4.1～2019.3.31
- 6) 神奈川県社会福祉協議会政策提言委員会副委員長 2011.8.3～2018.3.31
- 7) 日揮社会福祉財団助成審査委員 2013.4.1～2019.6.30
- 8) 葉山町総合計画審議会会長 2013.8.26～2019.8.25

## 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目 地域保健医療福祉連携論、人権ジェンダー、ヒューマンサービス総合演習、保健福祉行政論、社会福祉専門演習Ⅰ、社会福祉専門演習Ⅱ、ヒューマンサービス論Ⅰ(分担)、社会福祉行財政と福祉計画(分担)

- 2) 大学院担当科目 ヒューマンサービステ論、ヒューマンサービス演習、人事管理育成論（分担）、障害者福祉特論（分担）、保健福祉政策特論（分担）

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長
- 2) ヒューマンサービス研究会世話人代表
- 3) 総務・企画委員会委員
- 4) カリキュラム委員会委員

## 9 講演，放送等

- 1) インタビュー 臼井正樹. とともに生きる 津久井やまゆり事件から半年. 朝日新聞. 2017.1.30
- 2) インタビュー 臼井正樹. 時代の正体 相模原殺傷事件考 横田弘さんと相模原事件③. 神奈川新聞. 2017.7.27
- 3) コーディネーター 臼井正樹. シンポジウム 孤立・排除から共生社会への転換に向けて. 地域福祉推進のための課題共有シンポジウム. 神奈川県社会福祉協議会. 2018.1.22
- 4) コーディネーター 臼井正樹. テーマ別研修会 若手職員の確保・定着・育成のヒント. 神奈川県社会福祉協議会施設部会. 2018.2.20
- 5) コーディネーター 臼井正樹・堀越由紀子. 平成 29 年度セルフヘルプ実践セミナー. 神奈川県社会福祉協議会. 2018.3.4
- 6) 講師 臼井正樹. 第 5 次地域福祉活動計画策定と社協に求められる役割. 平成 29 年度役員研修会. 横須賀市社会福祉協議会. 2018.3.26

**氏名 小林 正稔 (大学院研究科兼務)**

## 3 その他の著作

(いじめ問題等の報告書複数、共同執筆)

## 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県教育委員会・かながわの子ども・若者支援プログラム研究会顧問
- 2) 神奈川県教育委員会教員採用試験面接官
- 3) 神奈川県教育委員会自立活動支援教諭（臨床心理士）スーパーバイザー
- 4) 神奈川県教育委員会教員採用試験問題点検委員
- 5) 神奈川県教育委員会不登校対策野外事業（金太郎キャンプ）外部委員
- 6) 横浜市教育委員会学校課題解決専門員
- 7) 横浜市教育委員会いじめ問題調査委員会委員
- 8) 横須賀市家庭子ども相談支援専門委員（スーパーバイザー）
- 9) 横須賀市児童相談所専門委員（スーパーバイザー）
- 10) 横須賀市教育委員会支援教育推進委員会委員
- 11) 横須賀市教育委員会いじめ問題等専門委員会会長
- 12) 横須賀市人権施策推進委員会会長
- 13) 海老名市教育委員会いじめ問題等専門委員会会長
- 14) 秦野市子ども子育て会議会長
- 15) 秦野市人権施策懇話会座長
- 16) 秦野市高齢者保健福祉推進委員会委員
- 17) 秦野市公的介護施設等設置・運営法人選考委員会
- 18) 秦野市教育委員会いじめ問題対策調査委員会会長
- 19) 神奈川県立釜利谷高等学校・学校運営協議会委員（コミュニティスクール）
- 20) 横浜市立浦島丘小学校・学校運営協議会委員・副会長（コミュニティスクール）
- 21) 神奈川県立明朋高等学校・学校評議会委員
- 22) 神奈川県立横浜ひなたやま支援学校・学校評議会委員
- 23) 社会福祉法人聖音会・児童養護施設「鎌倉児童ホーム」心理スーパーバイザー
- 24) 社会福祉法人成光福祉会・児童養護施設「成光学園」スーパーバイザー
- 25) 社会福祉法人心泉学園・児童養護施設「心泉学園」スーパーバイザー
- 26) 社会福祉法人誠心会・児童養護施設「しらかば子どもの家」スーパーバイザー
- 27) 社会福祉法人高松児童福祉会・あゆみ保育園第三者委員
- 28) 社会福祉法人横浜やまびこの里・評議員選任解任委員会委員
- 29) 社会福祉法人エリザベス・サンダース・ホーム・評議員選任解任委員会委員
- 30) NPO 法人・かながわ虐待ネグレクト専門家協会理事長
- 31) NPO 法人・ヨコハマチャイルドライン理事
- 32) NPO 法人・コロンプス・アカデミー理事
- 33) NPO 法人・神奈川県スクールカウンセラー協会監事

## 34) 独立行政法人海技教育機構「青雲丸」事案に関する第三者委員会委員

その他

## 6 学内教育活動

- 1) 人間関係とコミュニケーションⅠ、人間関係とコミュニケーションⅡ、臨床心理学  
臨床家族心理学、カウンセリング論、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習  
指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、卒業研究を担当す  
る他に複数の講義の一部を担当している。  
大学院では、特別研究、現代社会と福祉を担当、児童福祉論も一部担当。
- 2) 講義は、座学と演習の両方を行うので、教材の研究及び改訂、教育法の改善に力を注  
いでいる。
- 3) 学生の学修支援及び悩み等の相談にも積極的に対応している。

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員
- 2) カリキュラム委員会委員

## 8 社会貢献

- 1) 「神奈川県教育委員会・学級経営支援非常勤講師」制度を創設し、非常勤講師育成の  
アドバイザーとしての活動。  
これにより、主に小中学校の教員の授業力の向上を図る一助となっており、また同  
時に、豊富な経験と知識を持っている退職教員の力を活用し、教育力の継承が図られ  
ている。
- 2) 神奈川県教育委員会と共催で「ソーシャルワークの視点を持った教員養成研修」を企  
画・運営・助言を行い実施している。  
児童・生徒を取り巻く様々な社会状況に対処するため、スクールソーシャルワーカ  
ーやスクールカウンセラーが導入されているが、連携の悪さや、協働の出来なさから  
十分に活用されていない側面は否めない。  
そこで、受け入れる学校側の教員にもソーシャルワークの視点を持たせることによ  
り、相互理解・相互支援体制を作り易くし、児童・生徒の生活の質を向上させる一助  
となることを目指している。受講者は学校長から推薦された支援教育コーディネ  
ーターを中心としている。
- 3) 「神奈川県警察本部・大学生少年サポーター」への学生派遣  
神奈川県警察本部少年保護相談センターを中心に行っている、「大学生少年サポータ  
ー」に、この制度が創設以来ゼミ生を派遣し、非行を犯してしまった少年たちに対し  
ての支援を行っていると同時に、活動についてのアドバイスをしている。
- 4) 横須賀市児童相談所サポーター及び夜間指導員の派遣  
横須賀市児童相談所の創設に際しては、準備室のアドバイザーとして支援を行い、  
創設後は、専門員としてスーパーバイザーをしているが、その一環として児童への支  
援を行う、サポーターと一時保護者の夜間指導員として学生を派遣し、学生の学修の  
機会を確保するとともに、児童相談所の運営の一助として支援している。

## 5) 児童養護施設等への支援。

自らがスーパーバイザーとして活動している児童養護施設を中心として、学生のボランティアやアルバイトを派遣し、学生の学修支援を行うとともに児童福祉の向上のための人材育成に当たっている。

ちなみに、スーパーバイズの内容としては、施設運営の助言から始まり、児童支援のスキルアップの支援、セラピーについての助言など全般にわたり、職員の資質向上にも貢献している。さらに、学童保育への支援も複数箇所で行っている。

## 6) 横浜市、横須賀市、海老名市、秦野市のいじめ等の調査委員会において委員としてまた会長として、多くのいじめ事例に対する調査や、報告書作成に対応。

特に重大事案に対しての調査・検証等に自ら対応するだけでなく、技術提供も行っている。

その他

## 9 講演、放送

- 1) 神奈川県教育委員会・学級経営支援非常勤講師研修会講師
- 2) 神奈川県要約筆記者養成研修会講師（伝達の学習 1）
- 3) 横須賀市要約筆記者養成研修会講師（伝達の学習 1）
- 4) 横須賀市要約筆記者養成研修会講師（援助技術）
- 5) 神奈川県立清陵高等学校校内研修会講師
- 6) 秦野市教育委員会学級経営研修会講師
- 7) 逗子市市民活動センター研修会講師『自ら動く 地域活動 災害時を見据えて』
- 8) 神奈川県立松陽高校校内研修会講師「SSEについて」
- 9) 海老名市学校警察等連絡会講師「不登校児童生徒への対応について」

その他

## 氏名 新保 幸男（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 『児童家庭福祉論』（中央法規出版、編著）
- 2) 『家庭支援論』（中央法規出版、編著）

### 2 論文

- 1) 赤木拓人・新保幸男「特別養子縁組における「子の福祉」に関する研究－公刊された裁判例の分析から」日本子ども家庭福祉学会『子ども家庭福祉学』第18号、68頁～78頁
- 2) 新保幸男「子どもの貧困をめぐる課題：貧困の連鎖の第二段階を中心として」『弘道』平成29年（2017）第1108号、19頁～23頁
- 3) 新保幸男「養育環境としての東京サレジオ学園：児童との接し方についてのドン・ポスコの考え方を中心として」アガペ会『アガペ』128号、38頁～45頁

### 3 その他の著作

- 1) 新保幸男『厚生労働科学研究「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究（H28-政策-指定-007）」』（研究代表者、新保幸男）

### 4 学会等での活動（口頭報告）

- 1) 新保幸男・在原理恵「児童福祉専門職の育ち：同じ母子生活支援施設で働く専門職相互の影響を中心として」（第18回日本子ども家庭福祉学会、I分科会、2017年6月4日、関西福祉科学大学）
- 2) 小林理・新保幸男「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究：A県施設・機関職員への実態調査結果を中心に」（第18回日本子ども家庭福祉学会、I分科会、2017年6月4日、関西福祉科学大学）
- 3) 新保幸男・在原理恵・石井忍「乳児院における異なる専門職の学びあい」（第30回日本保健福祉学会、和歌山県立医科大学、2017年10月1日）
- 4) 新保幸男「最善の利益と自己決定」（子ども家庭福祉研究会、2017年10月7日、南流山）
- 5) 小林理・新保幸男・山崎美貴子・根本嘉昭「社会的養護におけると専門職の育ちと専門性の指標化：A県施設・機関職員への実態調査結果を中心に」（第65回日本社会福祉学会、首都大学東京、2017年10月22日）
- 6) 新保幸男・在原理恵・石井忍「児童福祉専門職の育ち：同じ乳児院で働く専門職相互の影響を中心として」（第65回日本社会福祉学会、首都大学東京、2017年10月22日）
- 7) 赤木拓人・新保幸男「『子の福祉』に関する研究：特別養子縁組裁判例における言葉の使用法に注目して」（第65回日本社会福祉学会、首都大学東京、2017年10月22日）
- 8) 新保幸男・打越友美「児童福祉法第2条の『最善の利益』についての研究：“interest”

と”stimulus”との関係を中心として」(日本社会福祉学会関東部会 2017 年度研究大会、明治学院大学、2018 年 3 月 4 日)

- 9) 打越友美・新保幸男「バイスティックの自己決定論をめぐる研究：1951 年論文における”stimulus”概念を中心として」(日本社会福祉学会関東部会 2017 年度研究大会、明治学院大学、2018 年 3 月 4 日)

#### 4 学会等での活動 (入会している学会、学会内での役割)

- 1) 日本子ども家庭福祉学会会員 学会誌編集委員会査読委員
- 2) 日本社会福祉学会会員 代議員、学会誌編集委員会査読委員
- 3) 日本保健医療福祉連携教育学会会員
- 4) 日本保健福祉学会会員 優秀報告選定委員会委員
- 5) 日本キリスト教社会福祉学会会員
- 6) 全国児童相談研究会会員
- 7) ヒューマンサービス研究会会員
- 8) 子ども家庭福祉研究会会員

#### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 内閣府 子供の貧困対策に関する有識者会議 (座長代理)
- 2) 厚生労働省 社会保障制度審議会臨時委員
- 3) 厚生労働省 社会保障審議会児童部会委員 (部会長代理)
- 4) 厚生労働省 社会保障制度審議会児童部会「ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」委員 (委員長代理)
- 5) 厚生労働省 ひとり親家庭等の在宅就業支援事業評価検討会委員 (委員長)
- 6) 厚生労働省 在宅就業者支援事業審査委員会委員 (座長)
- 7) 厚生労働省 在宅就業評価検討委員会委員
- 8) 厚生労働省 ひとり親懇談会委員
- 9) 神奈川県 神奈川県子ども・子育て支援推進協議会 (会長)
- 10) 横浜市 児童福祉審議会委員
- 11) 横浜市 児童福祉審議会 里親部会 (部会長)
- 12) 横須賀市 児童福祉審議会委員
- 13) 横須賀市 児童福祉審議会子ども・子育て部会 (副部会長)
- 14) 横須賀市 児童福祉審議会教育・保育基準部会 (部会長)
- 15) 財団法人養育費相談支援センター運営会議委員
- 16) 神奈川子ども未来ファンド正会員
- 17) 社会福祉法人横須賀基督教社会館評議員
- 18) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』査読委員
- 19) 神奈川県保育会保育園利用者相談室 第三者委員会委員・運営委員会委員
- 20) 上智大学大学院社会福祉学専攻「児童福祉学」非常勤講師

#### 6 学内教育活動

- 1) 研究指導教員として、大学院生1名の研究指導を担当した。
- 2) 修士論文審査主査として、修士論文1本の審査を担当した。
- 3) 大学院において、「社会福祉原論」「児童福祉特論」「社会福祉調査研究方法論」「社会福祉学特別研究」を担当した。
- 4) 学部において、「ヒューマンサービス論2」「児童福祉論」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「社会福祉専門実習」「卒業論文」の授業を担当した。「社会福祉基礎演習Ⅰ」において初回の授業として「社会福祉学の学び方」について講義した。さらに、「ヒューマンサービス総合演習」の授業において学生の学びの様子を観察した。
- 5) 学科で実施している国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。
- 6) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする研究会を開催した。
- 7) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする事例研究会を開催した。
- 8) 学部のゼミにおいて、3年次生6名、4年次生6名の指導を行った。

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 人権・倫理委員会委員
- 2) 社会福祉学科人事小委員会委員

## 8 社会貢献

- 1) 資生堂社会福祉事業財団が実施している奨学金支給制度（児童養護施設等へ措置されている児童が大学等へ進学するために支給するもの）にかかわる審査会の委員長として審査を担当した。

## 9 講演、放送

- 1) 「児童家庭福祉」全国社会福祉協議会中央福祉学院（葉山町）にて5回
- 2) 「子どもの貧困の現状と課題」NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会（2017年7月9日）
- 3) 「母子生活支援施設スーパーバイザー研修」東京都社会福祉協議会母子部会（2017年11月24日、飯田橋セントラルプラザ）
- 4) 「児童の最善の利益」東京都社会福祉士会（2018年2月2日）
- 5) 「事例検討：権利擁護関係事案」神奈川県保育士会（茅ヶ崎市 JA 茅ヶ崎、2018年2月5日）
- 6) 「すべての子どもたちの未来を育むかながわへ」神奈川県かながわ子どものみらい応援団発足記念イベント基調講演（横浜ラジアントホール、2018年2月7日）
- 7) 「社会的養護スーパーバイザー研修Ⅱ」東京都社会福祉協議会（オリンピック記念センター、2018年2月19日）
- 8) 「社会的養護スーパーバイザー研修Ⅰ」東京都社会福祉協議会（オリンピック記念センター、2018年2月20日）
- 9) 「配慮が必要な子どもと家族への支援：貧困に着目して」全国社会福祉協議会全国保育協議会、保育所・認定こども園トップセミナー（新横浜プリンスホテル、2018年2

月 26 日)

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究（H28-政策-指定-007）」（研究代表者、新保幸男）3年計画の2年目

## 氏名 高橋 恭子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 高橋恭子 (2017.6) 第1章第3節 日本の歴史. 日本医療社会福祉協会・日本社会福祉士会編. 保健医療ソーシャルワーカーアドバンスト実践のためにー (pp32-49). 東京: 中央法規.
- 2) 高橋恭子 (2017.6) 第1章第3節 医療ソーシャルワークに関する年表. 日本医療社会福祉協会・日本社会福祉士会編. 保健医療ソーシャルワーカーアドバンスト実践のためにー (pp50-54). 東京: 中央法規.
- 3) 高橋恭子 (2017.6) 第1章編者 保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史. 日本医療社会福祉協会・日本社会福祉士会編. 保健医療ソーシャルワーカーアドバンスト実践のためにー. (pp2-54). 東京: 中央法規.
- 4) 高橋恭子 (2017.6) 第2章編者 医療政策の動向とソーシャルワーク. 日本医療社会福祉協会・日本社会福祉士会編. 保健医療ソーシャルワーカーアドバンスト実践のためにー (pp56-105). 東京: 中央法規.
- 5) 高橋恭子 (2018.3) 第1部第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ. 『社会福祉学習双書』編集委員会編. 社会福祉学習双書 2018 第9巻社会福祉援助技術論 I (pp62-70). 東京: 全国社会福祉協議会.
- 6) 高橋恭子 (2018.3) 第1部第4章第1節 ソーシャルワーク前史. 『社会福祉学習双書』編集委員会編. 社会福祉学習双書 2018 第9巻社会福祉援助技術論 I (pp122-133). 東京: 全国社会福祉協議会.

### 3 その他の著作

- 1) 谷口千絵, 村上明美, 高橋恭子, 山田明美, 山本光 (2017.8) 平成28年度神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター助成金研究成果報告書 看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果. 神奈川県立保健福祉大学.

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 国家公務員採用総合職試験試験専門委員.
- 2) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 3) 横須賀市男女共同参画審議会委員.
- 4) 神奈川県弁護士会人権賞選考委員長
- 5) 日本医療社会福祉協会, 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修運営委員.
- 6) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 全国大会実行プロジェクト委員.
- 7) 性暴力対応ネットワーク StaRT かながわ, 事務局長

### 6 学内教育活動

- 1) 学部 「医療福祉論」, 「精神保健学Ⅱ」, 「社会福祉の歴史と現代社会」, 「ソーシャル

- ワーク演習Ⅰ」,「ソーシャルワーク演習Ⅱ」,「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」,「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」,「ソーシャルワーク実習」,「専門演習Ⅰ」,「専門演習Ⅱ」,「卒業研究」,「社会福祉専門実習」
- 2) 大学院 「ソーシャルワーク特論Ⅱ」,「がん看護学特論Ⅳ」,「社会福祉学特別研究」,「医療福祉実践・政策特論」,「対人援助特論」,修士論文指導1名.
  - 3) 実践教育センター 「保健医療福祉論」.
  - 4) 学生サークル「Child Wish」,「バスケットボール部」顧問.
- 7 学内各種委員会活動
- 1) 入試委員会委員長.
- 8 社会貢献
- 1) 性暴力対応における倫理と役割を学ぶ 看護職・福祉職・教職を目指す学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた研修会. 2017.12.16.
  - 2) 日本医療社会福祉協会 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修 ファシリテーター 2017.8.26.
  - 3) 横須賀市男女共同参画市民サポーター会議 ファシリテーター 2017.6.27,2018.3.15.
  - 4) オープンキャンパス担当 2017.8.6.
  - 5) 横浜清風高等学校 出張模擬授業 2017.11.21.
- 9 講演,放送
- 1) 高橋恭子(2017.8.19)「医療と介護分野における福祉専門職の連携促進研修～地域生活を支援する～,医療と介護の連携方法論,神奈川県地域医療介護総合確保基金事業」.神奈川県医療ソーシャルワーカー協会,神奈川県介護支援専門員協会,神奈川県精神保健福祉士協会合同プロジェクト.
  - 2) 高橋恭子(2017.12.16)「医療と介護分野における福祉専門職の連携促進研修～地域生活を支援する～,医療と介護の連携方法論,神奈川県地域医療介護総合確保基金事業」.神奈川県医療ソーシャルワーカー協会,神奈川県介護支援専門員協会,神奈川県精神保健福祉士協会合同プロジェクト.
  - 3) 高橋恭子(2018.3.19)「学会発表講座Ⅰ」神奈川県全国大会みらいプロジェクト学術部会.神奈川県医療ソーシャルワーカー協会.
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 谷口千絵,村上明美,高橋恭子,吉中季子,山本光.地域貢献研究センター研究助成「看護職・社会福祉職・教職及び学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果」研究分担者 研究経費:223千円

## 氏名 山本恵子（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 「英国の最貧困地域の挑戦」、賃金と社会保障 No.1686 2017

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長
- 2) 葉山町地域包括支援センター運営協議会会長

### 6 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座において高齢者福祉論を担当した。

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究助成専門部会委員
- 2) 大学院研究科運営会議委員

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金、基盤研究 c 「貧困削減と捕捉率に関する日英比較研究」代表者、2017.4～
- 2) 科学研究費補助金、基盤研究 c 「英国の多問題家族と自治体・社会的企業の共同支援プログラムに関する研究」分担者、2016.4～

## 氏名 西村 淳（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 西村淳.(2017.10) 社会保障政策の国際的動向. 広井良典・山崎泰彦編, 社会保障論 (pp235-259). 京都: ミネルヴァ書房
- 2) 西村淳. (2018.2) 諸外国における社会保障制度の概要. 社会福祉学習双書編集委員会編, 社会保障論(pp279-305). 東京: 全国社会福祉協議会

### 2 学術論文

- 1) 西村淳.(2018.3) 参加支援の観点から見た社会福祉の法体系論. 神奈川県立保健福祉大学誌 15, 3-13.

### 3 その他の著作

- 1) 西村淳.(2017.7) 高齢者特有の所得保障ニーズとは. 年金情報 740.
- 2) 西村淳.(2017.8) 企業年金制度の課題と将来. 週刊社会保障 2936.
- 3) 西村淳.(2017.9) 払った分が返ってくる年金制度. 企業年金総合プランナー30.
- 4) 西村淳.(2018.1) 雇用の変容と安全・安心な年金制度. 企業年金 456

### 4 学会等での活動（報告）

- 1) 西村淳. (2017.10) 地域福祉における市民参加支援に係る公的責任のあり方. 日本社会福祉学会第 65 回秋季大会（首都大学東京）
- 2) 西村淳. (2018.3) Integrated Community Care and Local Community. 日韓シンポジウム「縮小社会の中における協同体」（全北大学校）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本年金学会幹事
- 2) 横浜市国民健康保険運営協議会委員
- 3) 北海道大学公共政策学研究センター研究員

### 6 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当: 「保健医療福祉論Ⅱ」「社会福祉の法と制度」「法と人間」「福祉の哲学」
- 2) 大学院の講義担当「医療社会福祉実践政策特論」「保健福祉国際政策特論」
- 3) 学部生チューター担当

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科運営会議委員
- 2) 大学院研究科入試委員

## 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける学科説明(2017.8)
- 2) 国際協力機構「モンゴル社会保険実施能力強化プロジェクト」によるモンゴル年金実務家受け入れ (2017.11)

## 9 講演, 放送

- 1) 神奈川県老人クラブ連合会「ゆめくらぶ大学」講師(2017.10)
- 2) 学内研究発表会「地域福祉の法的構造に関する研究」報告 (2017.7)

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 (基盤研究 B) 「高齢者法の確立に向けて: 学際的研究による高齢者特有の法的課題の解明」平成 27～30 年度、分担研究者
- 2) 科学研究費補助金 (基盤研究 B) 「縮小社会における公法システムの学際的研究: ケア・包摂・協同体」平成 27～29 年度、分担研究者
- 3) 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業補助金(実社会対応プログラム) 「地域特性が生きる医療介護総合計画の評価基準の確立: 小児在宅医療を起点にして」平成 27～30 年度、分担研究者
- 4) 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業 (科学推進総合研究事業) 「公私年金の連携に注目した私的年金の普及と持続可能性に関する産学官の横断的研究」平成 29～31 年度、分担研究者

## 氏名 在原理恵（大学院研究科兼務）

### 3 その他の著作

- 1) 在原理恵（2017）. 津久井やまゆり園再生基本構想をめぐる議論から「地域生活」について考える. 季刊グループホーム, 55, 2-5
- 2) 在原理恵（2018）. 「公共化された問い」と「知見の公共化」. 日本生活支援学会誌, 7, 2-6.
- 3) 在原理恵（2018）. “障害が軽いとされる人”がグループホームで受けている支援に関する調査 第一報. 季刊グループホーム, 56, 2-7

### 4 学会等での活動

- 1) 日本生活支援学会公開セミナー「研究入門～リサーチクエスチョン・研究計画を考える～」講師（2017.10.8）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員（2010.6～）
- 2) 特定非営利活動法人自立の家 苦情解決のための第三者委員（2012.7～）
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長（2014.4～）
- 4) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 副委員長（2016.4～）
- 5) 神奈川県障害者生産活動支援事業 工賃アップ推進検討会 構成員
- 6) 神奈川県障害者施策審議会委員（2016.6～）
- 7) 社会福祉法人自立の家 評議員（2017.4～）
- 8) 葉山町障害者福祉計画策定委員会委員長（2017.5～2018.3）

### 6 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座において「社会調査の基礎」を担当した.
- 2) 研究倫理審査委員として,随時,社会福祉領域の院生が作成した研究倫理審査申請書の指導を行った.

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会,自己評価委員

### 8 社会貢献

- 1) 評価調査者認定研修（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構）, 講師（2017.10.1）
- 2) 障害者グループホーム第三者評価に関する事業者説明会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構）, 講師（2017.2.5）

- 3) 障害者グループホーム サービスの振り返り（自己評価）研修（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2018.3.2）

## 9 講演，放送

- 1) 講演「問われる共生社会～津久井やまゆり園の再生を巡る議論から見えてきたこと～」特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会主催の講演・シンポジウム（2017.11.11）

## 氏名 大島 憲子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書 (共著)

- 1) 筒井孝子, 石川誠, 大島憲子, 他. 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者 [アセッサー]講習テキスト. 東京: 一般社団法人シルバーサービス振興会; 2017.
- 2) 大島憲子; 日本認知症ケア学会編集委員会編: 認知症ケア事典 (粥食, 加齢, 加齢黄斑変性, カロテノイド, 間歇的口腔食道経管栄養法, 間欠導尿, 間欠熱, 看護過程, 看護記録) 東京, ワールドプランニング, 51-52, 56-57, 2017.

### 2 その他の著作 (単著)

- 1) 大島憲子, 松坂由香里; 認知症者の BPSD に対する症候対応型ケアに関する研究報告書, 2017.3.31.

### 3 学会等での活動

- 1) 日本認知症ケア学会 「日本の認知症ケア学会誌」査読委員 (2006.4～)
- 2) 日本認知症ケア学会 「認知症ケアジャーナル」査読委員 (2008.4～)
- 3) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員 (2006.4～)
- 4) 日本認知症ケア学会大会 口頭発表等座長 (2007《第8回大会》～)

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県住宅政策懇話会委員 (2017.10～)
- 2) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会委員 (2015.9～)
- 3) 神奈川県在宅医療推進協議会委員 (2015.2～)
- 4) 神奈川県地域包括ケア会議委員 (2015.2～) 副委員長 (2015.4～)
- 5) 横須賀市介護保険運営協議会委員 (2014.9～)
- 6) 日本認知症ケア学会 評議員 (現, 代議員), 2006.4～
- 7) 日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士推進委員会委員 (2016.4～)
- 8) 日本認知症ケア学会 各種褒章等委員会委員 (2016.4～)
- 9) 介護キャリア段位制度 アセッサー講習・外部評価審査員講習の在り方に関する検討チーム検討委員 (2014.4～)

### 5 学内教育活動

卒業研究指導 (卒業論文): 指導卒業論文 (6 論文)

修士課程院生研究補助指導 (修士論文) 等 (2 論文)

### 6 学内各種委員会活動

- 1) 図書・情報委員会委員, 2016.4～
- 2) 地域貢献研究センター委員, 2013.11～2017.3.31

### 7 社会貢献

#### 鎌倉市自主防災組織連合会見学

・テーマ：「災害時の避難生活での高齢者・障害者の介添え方法と狭小スペースでの生活における健康体操等の留意事項について」 2018.3.14

(※鎌倉市自主防災組織連合会会員 40 名に対し実施した)

#### 8 講演, 放送

講演:平成 29 年度 ゆめクラブ大学「希望する生活と地域支援事業の関係」 2017.10.19

(※横須賀・三浦ブロック連絡協議会主催による「ゆめクラブ大学」に参加する老人クラブ連合会会員に対し講演した)

#### 9 学内研究助成金の受託

大島憲子, 松坂由香里「認知症者の BPSD に対する症候対応型ケアに関する研究」神奈川県立保健福祉大学 研究助成 A (協働研究) 393 千円 2017.4.1～2018.3.31

(大島憲子, 松坂由香里; 認知症者の BPSD に対する症候対応型ケアに関する研究報告書, 2017.3.30 に報告書を提出した)

## 川村 隆彦（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 川村隆彦編著（2017）『保育者だからできるソーシャルワーク - 子どもと家族に寄り添うための 22 のアプローチ』中央法規出版

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員（2006. 1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員（2013.10～）

### 6 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワーク I」「ソーシャルワーク II」「ソーシャルワーク演習 I」「ソーシャルワーク演習 II」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導 I・II」「社会福祉専門演習 I・II」「卒業論文」を担当した
- 2) 保健医療福祉論 I の科目責任者として、講義及び、現場訪問作業等を担当した。

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働部会（2010. 4～）

### 8 社会貢献

- 1) 愛知県社会福祉士会主催「成年後見活用講座」において権利擁護に関する講演を行う。
- 2) 東京都社会福祉士会生涯研修センター主催「ソーシャルワーク基礎研修」において理論・アプローチのトレーニングを行う。
- 3) 東京都福祉保健財団主催「高齢者虐待対応研修」において、エンパワメントトレーニングを行う。
- 4) 沖縄県慢性医療協会主催の研修会において、医療ソーシャルワーカーのためのトレーニングを行う
- 5) 石川県医療ソーシャルワーカー協会主催の研修会において、エンパワメントトレーニングを行う。

### 9 講演，放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス公開講座「災害と保健福祉」において、口頭発表「災害時における心の支援・物質的な備え」を行う

## 氏名 中村 美安子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 中村美安子. (2018). 第2章社会福祉の再編と地域福祉 6 介護保険法・社会福祉法と地域福祉 7 これからの地域福祉のあり方報告と安心生活創造事業. 社会福祉学習双書 2018 第8巻地域福祉論(改訂第8版) 地域福祉の理論と方法. (62-68). 東京: 全国社会福祉協議会. 2018.3

### 2. 論文

- 1) 中村美安子、大原一興、藤岡泰寛 (2018) .空き家活用による住民福祉活動拠点に関する研究—地区社会福祉協議会に関する全国調査から(報告).神奈川県立保健福祉大学誌第15巻第1号.神奈川県立保健福祉大学

### 4 学会等での活動

- 1) 学会発表 (2017.9.3) 中村美安子、大原一興、藤岡泰寛. 空き家情報の集積点としての成年後見人及び司法書士の可能性～空き家活用による住民活動拠点の確保に関する研究. 日本建築学会 2017 年度大会 (広島). 広島工業大学. 学術講演梗概集 建築計画 7218 (541-542)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局 社会福祉推進事業評価委員会委員 2011.9～
- 2) 横浜市福祉のまちづくり推進会議委員(副委員長) 2013.7.～
- 3) 横浜市こども・子育て会議臨時委員 2016.11.1～
- 4) 子ども・若者支援協議会委員 2016.11.1～
- 5) 全国民生委員児童委員連合会 地域福祉推進部会委員 2011～
- 6) 横須賀市社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会委員 2013.4～
- 7) 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員 2013.9～
- 8) 社会福祉振興・試験センター 介護支援専門員実務研修受講試験委員 2014.4～
- 9) 狛江市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員 2016.6.～2018.3
- 10) 横浜市民生児童委員協議会企画部会 2017.4～2018.3

### 6 学内教育活動

- 1) 平成 29 年度社会福祉士国家試験対策講座講師. (「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」)
- 2) 実践教育センター主催 他職種連携推進課程において「地域生活支援論」を講義した
- 3) 学生ボランティアセンター顧問 2017.4～2018.3

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 副委員長 2017.4～2018.3
- 2) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟担当 2017.4～

3) 社会福祉学科各種学会担当 2017.4～

9 講演, 放送

- 1) (福)神奈川県民生委員児童委員協議会主催、新任地区会長研修において、民生児童委員に求められる役割について講義及びグループ議論に対する助言を行った。  
2017.9
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催、社会福祉主事資格認定通信課程民間・秋期コース第1回及び第4回において地域福祉論の講義を行った。2018.1. 2

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者: 中村美安子、大原一興、藤岡泰. 地区社会福祉協議会活動推進における空き家活用型専有拠点に関する研究. 平成28年度～30年 350万円. 2016.4. 1～2019.3.31

## 福士 貴子（大学院研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市児童福祉審議会委員
- 2) 同 措置分科会委員（副委員長）

### 6 学内教育活動

#### 1) 学部担当科目

「保健医療福祉論Ⅰ」において学習指導、現場実習引率、事後指導。

「障害者福祉論」「ソーシャルワークⅣ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「ソーシャルワーク専門演習Ⅰ」「ソーシャルワーク専門演習Ⅱ」「卒業研究」「ソーシャルワーク基礎演習Ⅱ」等、担当

#### 2) 学科での担当

- ・社会福祉士・精神保健福祉士受験対策講座で「相談援助の基盤と専門職」担当講師
- ・ソーシャルワーク実習担当者会議（ほぼ毎月）出席
- ・ソーシャルワーク指導者懇談会（2012年度～ 例年7月実施）等

#### 3) 大学院担当科目等

- ・「ソーシャルワーク特論Ⅱ」をオムニバス形式による分担担当。
- ・修士課程学生に対し、補助教員として指導に関わり、修士論文審査の副査も担う。

#### 4) 実践教育センター担当科目

「多職種連携推進課程」において「相談援助の基本」を2日間（12時間）担当

### 7 学内各種委員会活動

#### 1) FD委員会委員

### 8 社会貢献

#### 1) 学内行事

オープンキャンパスの運営参加

#### 2) 各種入学試験等への対応

大学入試の面接委員、試験監督担当

センター入試の業務参加（概ね隔年でヒアリング担当含む）

### 14 その他

## 氏名 行實志都子（大学院研究科兼務）

### 4 学会等での活動

学会発表；テーマ「地域生活を支援する福祉専門職の医療と介護の連携における現状と課題」第53回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第16回日本精神保健福祉士学会

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 2014.4.1～2018.3.31 精神障害者のリハビリテーションについて研究する学会においての学会員への研修企画を担当する。
- 2) 三芳町自立支援協議会 会長 2010.4.1～ 埼玉県三芳町の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める。
- 3) ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 2008.4.1～ 埼玉県ふじみ野市が主催する精神障害者支援に関係する機関や家族、学識経験者が集まり、ふじみ野市の精神障害者への支援を検討する。
- 4) 社会福祉法人結の会 理事 2013.1.1～ 新宿区にある就労継続支援 B 型を実施する社会福祉法人であり、その会の理事を務める。
- 5) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 2016.4.1～
- 6) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 2016.6.1～  
日本精神保健福祉士協会の精神保健部 権利擁護委員会での委員である。
- 8) 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～  
神奈川県精神保健福祉士協会において、副会長を務める

### 6 学内教育活動

- 1) ゼミにおいて「県立保健福祉大学 社会福祉学科の魅力とは？」の冊子を作る

### 7 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス担当

### 8 社会貢献

- 1)公益社団法人日本てんかん協会神奈川県支部，てんかんと雇用に関する研究会「2017年度てんかんと雇用の関する調査」報告書 発行

### 9 講演・放送

- 1) ピアサポート研修 茨城県 重度心身障害者の親の会 2017.7
- 2) 川崎市相談支援専門員 初任者研修 2017.9
- 3) 川崎市精神障害者地域生活支援センター カシオペア ピアサポート研修

2016.10.

- 4) アステラス製薬 ピアサポート研修 北海道 2017.10.28-29
- 5) 川崎市相談支援専門員 現任者研修 2017.11 2017.12

## 氏名 吉中 季子（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 吉中季子（2017）「ドメスティックバイオレンスと子ども」松本伊智朗編『子どもの貧困を問い直す一家族・ジェンダーの視点から』法律文化社，pp.153-170

### 3 その他の著作

- 1) （研究ノート）石田那奈・吉中季子・小野川文子・共著「若年女性の妊娠と出産の実態—10代で妊娠・出産した女性たちの語りから—」『道北福祉』（道北福祉研究会（名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科））第9号 pp.1-18.
- 2) （テキスト）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編（2018）（執筆者多数につき省略）『社会福祉士国家試験過去問解説集 2018』中央法規,pp88-89

### 4 学会等での活動

- 1) 「大学生の国民年金保険料支払いの意味—制度変遷からの検討と加入の実態—」  
日本年金学会於：東京／全国情報サービス産業厚生年金会館（2017年10月26日）
- 2) 「母子生活支援施設の役割と存在意義の再検討—北海道における利用者調査より—」  
日本社会福祉学会第65回全国大会 於：東京／首都大学東京（2017年10月22日）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 貧困研究会 選挙管理委員会委員（2016年4月～現在に至る）
- 2) 貧困研究会 運営委員（2017年3月～現在に至る）  
第10回全国大会（於：京都大谷大学）大会運営委員

### 6 学内教育活動

- 1) 社会福祉士国家試験対策にて、「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会
- 2) 公立大学協会社会福祉学系部会担当、  
2017年度は幹事校のため本学での部会開催を担当
- 3) ソーシャルワーク教育連盟 担当

### 8 社会貢献

- 1) 平成 29 年度民生委員児童委員テーマ別研修Ⅱ 神奈川県民生委員児童委員協議会  
於：県民共済みらいホール（横浜市）テーマ「子どもの貧困とは～現状と課題を学ぶ～」
- 2) 高大連携プログラム（於二俣川看護福祉高等学校）、2017年12月6日、  
テーマ：「貧困について考える」

- 3) 社会福祉士実習指導者講習会 講師「実習指導概論」担当（2017年6月16日）
- 4) 葉山町民生委員推薦会委員（神奈川県葉山町）
- 5) 特定非営利活動法人 女性サポート Asyl（あじーる）理事長

#### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 15K03922 「単身女性のライフステージにおける貧困の形成要因に関する研究」2015-2017年度 研究代表者
- 2) 科学研究費補助金(基盤研究(A))課題番号 16H02047 「子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して」2016-2019年度 分担研究者（研究代表者 松本伊智朗（北海道大学））

#### 14 その他

- 1) 北海道新聞「学生も20歳から納付、適用範囲徐々に広がる」2017年9月15日、論文紹介記事掲載
- 2) 北海道新聞「危険な誘惑 地方でも 子どもを守ろう 第1部ネット社会のわな」2017年10月31日、インタビュー記事掲載

## 氏名 石井 忍 (大学院研究科兼務)

### 4 学会等での活動

- 1) 「施設職員が仕事を続けていくための要因に関する考察 - B 乳児院に 30 年以上勤務する A 職員への聴き取りから - 」, 口頭発表, 日本生活支援学会新潟大会, 2017.4

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2) 介護福祉士国家試験実技試験委員 2012.6～

### 6 学内教育活動

- 1) 実践教育センター 教員・教育担当者養成課程 介護コース「介護技術論」

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会

### 8 社会貢献

- 1) シャローム浦上台 第三者委員. 2010.4～
- 2) 横浜市野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～
- 3) 社会福祉法人きしろ社会事業会評議員 2017.4～

## 川久保 寛（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 川久保寛「判例回顧（社会保険系）」社会保障法 32号（2017年5月）260～263頁。

### 4 学会等での活動

- 1) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援－介護支援拠点および介護相談を手がかりに－」比較法学会シンポジウム研究会・研究報告（於上智大学）2018年3月20日。
- 2) 川久保寛「2018年ドイツ調査と問題関心」科研基盤B（ドイツ若者就労支援の研究－成長過程に即した包活的支援と最低生活保障の視点から）研究会・研究報告（於関西学院大学）2018年3月18日。
- 3) 川久保寛「高齢者と介護－住まいの選択に着目して－（仮）」高齢者法研究会・研究報告（於TKPレクトーレ熱海桃山）2018年2月23日。
- 4) 川久保寛「介護記録に記載のないサービスの提供と介護報酬の返還」北海道社会保障法研究会・研究報告（於小樽商科大学）2018年2月10日。
- 5) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援－介護支援拠点と介護相談を手がかりに－」比較法学会シンポジウム研究会・研究報告（於上智大学）2017年12月23日。
- 6) 川久保寛「AOK介護支援拠点調査報告」科研基盤B（ドイツ若者就労支援の研究－成長過程に即した包活的支援と最低生活保障の視点から）研究会・研究報告（於龍谷大学）2017年12月17日。
- 7) 川久保寛「境界層措置の意義と課題－低所得者支援の在り方についての一考察－」東京社会保障判例検討会・研究報告（於早稲田大学）2017年11月17日。
- 8) 川久保寛「ドイツ介護保険法における介護支援拠点の機能と意義」東京社会保障法研究会・研究報告（於早稲田大学）2017年10月21日。
- 9) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援－介護手当と介護支援拠点を手がかりに－（仮）」比較法学会シンポジウム研究会・研究報告（於上智大学）2017年9月22日。
- 10) 川久保寛「地方自治体による低所得者支援の再検討～生活困窮者自立支援制度と「境界層」措置の意義～」早稲田大学研究会・研究報告（於早稲田大学）2017年8月9日。
- 11) 川久保寛「高齢者と介護－住まいの選択と相談援助に着目して－（仮）」高齢者法研究会・研究報告（於湘南国際村）2017年7月31日。
- 12) 川久保寛「ドイツ介護保険法におけるアクセス」世界の病院（科研基盤A・持続可能な社会保障制度構築のための病院等施設サービス機能に関する総体的比較研究）研究会・研究報告（於品川AP）2017年7月9日。
- 13) 川久保寛「ドイツ介護支援拠点調査について」科研基盤B（ドイツ若者就労支援の研究－成長過程に即した包活的支援と最低生活保障の視点から）研究会・研究報告（於

龍谷大学) 2017年7月1日。

- 14) 川久保寛「成年後見人の横領と裁判所の国家賠償責任 ～裁判例の検討による基礎的考察～」東京社会保障判例検討会・研究報告(於早稲田大学) 2017年6月23日。

## 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会・編集委員(2016年12月から現在まで)
- 2) 横須賀市社会福祉協議会、よこすか市民後見人等運営事業推進会議・委員(2013年10月1日から現在まで。2015年6月2日から副委員長)
- 3) 横須賀市、地域包括支援センター・総評担当(2014年度から現在まで)

## 6 学内教育活動

- 1) (学部) 社会保障論、権利擁護と成年後見制度、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 2) (大学院) 社会保障特論
- 3) (社会福祉士国家試験対策) 権利擁護と成年後見制度、就労支援サービス、更生保護
- 4) 1年生チューター

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 時間割ワーキンググループ(2016年4月から現在まで)。
- 2) 国家試験連絡担当(2015年4月から現在まで)
- 3) オープンキャンパス担当(2015年4月から現在まで)

## 8 社会貢献

- 1) 横須賀市大津地域包括支援センター、地域ケア会議・委員(2016年11月から現在まで)

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 川久保寛「介護サービスの質の確保と行政の役割 ―ドイツを参照した解釈論的・実証論的研究―」科研若手研究 B 研究代表者、2016年4月から2019年3月まで、1,300,000円。
- 2) 川久保寛「持続可能な社会保障制度構築のための病院等施設サービス機能に関する総合的比較研究」科研基盤 A (研究代表・加藤智章北海道大学大学院教授) 研究分担者、2015年4月から2020年3月まで、100,000円。
- 3) 川久保寛「高齢者法の確立に向けて ―学際的研究による高齢者特有の法的課題の究明」科研基盤 B (研究代表・関ふ佐子横浜国立大学大学院教授) 研究分担者、2015年4月から2019年3月まで、50,000円。

## 14 その他

- 1) 川久保寛「海外社会保障制度研究についての現状と課題」国立社会保障人口問題研究所・会議(於国立社会保障人口問題研究所)、2018年2月23日。

- 2) 川久保寛「実習マネジメント論」社会福祉士実習指導者講習会（於神奈川県立保健福祉大学）、2017年6月17日。
- 3) 川久保寛「特養ホーム調査から（中）コメント」毎日新聞・コメント、2017年5月12日。
- 4) 川久保寛「介護保険法における自治体間格差および近年の動向」毎日新聞・ヒアリング（於神奈川県立保健福祉大学）、2017年5月8日。

## 氏名 岸川 学

### 3 その他の著作

- 1) 岸川学 (2017) 『知的障害や自閉症の人へのエアロビック指導の可能性』, 季刊スマイル Vol.76, p13, 公益社団法人日本エアロビック連盟.
- 2) 岸川学 (2017) 随想『「生きる」ということ 重度知的障害のある自閉症の人たちとの歩みからの考察』, 心と社会 No.170, p75-81, 日本精神衛生会.

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問委員. 2011.5～
- 2) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員長. 2011.8～
- 3) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会委員. 2012.9～
- 4) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議委員. 2013.4～
- 5) 横須賀市障害とくらしの支援協議会くらしを支える連絡会会長. 2013.4～
- 6) 神奈川県立岩戸養護学校評議会委員. 2014.6～
- 7) 鎌倉市自立支援協議会権利擁護・相談支援専門部会会長. 2015.4～2018.3
- 8) 鎌倉市自立支援協議会運営会議委員. 2016.4～2018.3
- 9) 鎌倉市自立支援協議会全体会委員. 2016.4～
- 10) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者支援協議会会長. 2016.4～
- 11) 社会福祉法人みなと舎評議員.2017.6～
- 12) 一般社団法人花信風基幹相談支援センター事業受託検討委員会ワーキンググループ委員. 2017.6～

### 6 学内教育活動

- 1) ソーシャルワーク演習Ⅰ, ソーシャルワーク実習, ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, ソーシャルワーク実習指導Ⅱ, 社会福祉基礎演習Ⅰ, 社会福祉基礎演習Ⅱ, 保健医療福祉論Ⅰ, 形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援(2回)」, ヒューマンサービス総合演習(事例検討)を担当.
- 2) H.S.C(ほっとするクラブ), 卓球サークル, 顧問.
- 3) サマースクール2017, おひサマー2017のサポート. 2017.8.16～8.22
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」. 2017.12
- 5) 発達障害者支援に関する学生自主研究会「マナブジョン」のサポート. 2012.12～

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員. 2013.4～
- 2) オープンキャンパス担当委員. 2015.4～
- 3) 卒業式・入学実行委員. 2018.3

## 8 社会貢献

- 1) 平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育（社会福祉士実習指導者講習会）の企画・運営ならびに講義「実習プログラミング論」を担当した。2017.6
- 2) 神奈川県立保健福祉大学・神奈川県教育委員会 平成 29 年度ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修において「発達障害の理解と対応」を担当した。2017.8
- 3) 「自閉症者ボランティア」の養成，横須賀・三浦地区自閉症児・者親の会における学生ボランティアのコーディネート・自閉症に関する講義を実施。2017.9
- 4) 本学大会議室を会場に開催した「よこすか障害福祉 café2017 秋」の企画・準備・シンポジウムのコーディネーターを行った。2017.10
- 5) 鎌倉市自主防災組織連合の本学見学会において、講話「災害時の避難生活での高齢者・障害者の介添え方法、および、狭小スペースでの生活における健康体操等の留意事項」を実施した。2018.2

## 9 講演，放送

- 1) 口頭発表：「自閉症者支援の形成に関する研究－日本における TEACCH プログラムの課題整理－」学内研究発表会，2017.7.5
- 2) 講演：「高齢者・障害者の現状について」平成 29 年度湘南人権擁護委員協議会研修会。2017.7.20
- 3) サブトレーナー：神奈川県自閉症児・者親の会連合会「第 20 回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」。2017.7.29～8.2
- 4) 講演：「人生 80 年をより良く生きるために－障害のある人の地域生活を考える－」。神奈川県立湘南養護学校夏季公開講座。2017.8.24
- 5) 講演：「発達障害が疑われる子どもの理解と対応－お互いが幸せになるために－」茨城県児童福祉施設協議会処遇困難事例検討会。2017.9.20
- 6) 講演：「当事者の気持ちになってより良い支援を一緒に考えよう」。神奈川県知的障害施設団体連合会支援スタッフ部会研修会。2017.9.22
- 7) 講演：「利用者の気持ちに近づいてより良い支援を考えよう」。社会福祉法人ラファエル会虐待防止研修。2017.11.20～2017.12.26（全 10 回）
- 8) 講演：「しあわせな町づくり」。逗子市社会福祉協議会・逗子文化交流プラザ「自ら動く－30 年後の未来に向けて」。2017.11.26
- 9) 講演：「発達障害の理解を深める」神奈川県社会福祉士会横須賀・三浦支部研修会。2017.11.28
- 10) コーディネーター：「当事者への権利擁護 支援、それとも権利侵害なのか－その支援の主語は誰ですか－」。平成 29 年度横須賀市障害とくらしの支援協議会障害者の権利擁護研修会。2017.12.8
- 11) 講演：「自閉症スペクトラム支援の実際－強度行動障害と上手につきあう方法－」。平成 29 年度神奈川県発達障害者支援センター支援技術習得研修⑨，2017.12.25
- 12) 講演：「当事者の気持ちになってより良い支援を一緒に考えよう」。社会福祉法人星谷会職員研修会。2018.2.16
- 13) 講演：「利用者の尊厳って何・・・？呼称について考えてみよう！」。三浦しらとり園職

## 員研修会． 2017.2.21

- 14) 講演：「自分で決めるふだんのくらしのしあわせー支障なく日常を過ごすー」． ずし楽習塾講座「逗子で改めて自分たちの地域福祉」． 2018.2.27
- 15) 講演：「一人ひとりを大切にー障害のある子どもを含めた生活づくりー」． 神奈川県学童保育連絡協議会第 41 回神奈川県学童保育研究集会． 2018.3.4
- 16) 講演：「行動障害のある人の暮らしを支えるために」． 平成 29 年度横浜市強度行動障害支援力向上研修（強度行動障害支援者養成研修【実践研修】）． 横浜市発達障害者支援センター． 2018.3.5
- 17) 講演：「高齢期をむかえた障害のある人へのサービスは？ー障害福祉サービスと介護保険のはざままで考えるー」． 横須賀市西第一地域包括支援センター研修会． 2018.3.13
- 18) パネラー：「私にとっての「あの時」」． 横須賀学院高等学校進路シンポジウム． 2018.3.20

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 岸川学．「自閉症者支援の形成に関する研究ー日本における TEACCH プログラムの展開と評価」，研究助成 B，71,576 円，2017.6.1～2018.3.31

## 氏名 中越 章乃

### 3 その他の著作

- 1) 「精神保健福祉士国家試験模擬問題集 2018 精神保健福祉の理論と相談援助の展開」中央法規出版株式会社, 選択問題, 事例問題, 解説の作成
- 2) 「2018 精神保健福祉士国家試験過去問解説集」一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集, 中央法規出版株式会社, 解説の作成
- 3) 「平成 29 年度精神保健福祉士全国統一模擬試験 (作問)」一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟, 選択問題, 事例問題, 解説の作成
- 4) 「精神病院はいらないーイタリアバザーリア改革を達成させた愛弟子 3 人の証言ー」『精神医療』書籍紹介
- 5) 「地域における精神障害者の人権確保に関する研究～精神障害者に対する地域のまなざしと専門職の構えを中心に～」地域のストレングスを活かした精神保健医療改革プロセスの明確化に関する研究, 厚生労働行政推進調査事業費補助金障害者政策総合研究事業 (精神障害分野) 平成 28 年度総括・分担研究報告書
- 6) 「効果のあがる病院・地域統合型退院促進・地域定着支援プログラム実施マニュアル & ガイドライン」文部科学省平成 27 年度科学研究費補助金基盤研究(C)精神障害者の地域移行を促進する多職種連携によるクラウドシステムの構築と活用
- 7) 「精神科病院の長期入院患者を退院支援につなぐためのしくみづくりに関する研究」神奈川県精神保健福祉センター平成 28 年度・29 年度報告書

### 4 学会等での活動

- 1) 退院支援の原点を考える～長期入院患者に向けたピアサポート活動から～, リカバリー全国フォーラム, 分科会コーディネーター (豊島区)
- 2) 長期入院患者の退院促進・地域定着支援のためのガイドラインの試行～病院・地域統合型支援マニュアルをベースとした圏域体制構築に向けて～第 60 回日本病院・地域精神医学会総会 (松本市)
- 3) 長期入院患者の退院促進・地域定着のための支援戦略ガイドラインの試行～統合支援チームの試行評価調査から～, 日本精神障害者リハビリテーション学会第 25 回大会ポスター発表 (久留米市)
- 4) 神奈川県精神保健福祉士協会における実習指導者と養成校教員の協働～学生にとってフェアであることを目指して～, 第 53 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 (大阪市)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県精神保健福祉センター調査研究委員
- 2) 神奈川県精神保健福祉士協会実習指導ネットワーク委員会委員
- 3) 横須賀市障害程度判定等審査会委員
- 4) 三浦市日常生活自立支援事業契約締結審査会委員

5)一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟国家試験合格支援委員会委員

6 学内教育活動

- 1)精神障害者の生活支援システム, 精神科リハビリテーション学 , 精神保健福祉援助演習, 精神保健福祉援助技術演習, 精神保健福祉援助実習指導 I , 精神保健福祉援助実習指導 II , 精神保健福祉援助実習, 基礎演習 I , II
- 2)精神保健福祉援助実習の事前指導(実習計画書作成等)・事後指導(実習報告書作成等), 実習巡回指導, 帰校日指導, 実習報告会, 実習指導者懇談会の運営
- 3)形態別介護技術演習II「精神障害のある人の生活支援技術」
- 4)精神科領域の施設、精神科病院と見学・就職希望学生の調整

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会委員
- 2) 卒業式・入学式実行委員

9 講演, 放送

- 1)株式会社福ぶくろ介護のたくみ職員研修会
- 2)小田原市福祉健康部生活支援課研修会
- 3)鎌倉市居宅介護支援事業所研修会